

愛寿会だより

12 月号
第 186 号
平成 26 年
12 月 10 日発行



ハヶ岳も雪化粧をし、「仁生園」周辺も本格的な冬の訪れを迎えました。

平成二十六年十一月五日 「特養における介護事故予防対策」と題して
幹部職員から中堅職員等に対して研修会が行われました。介護事故防止に向けて、施設全体としての
施策、事故に対する施設の説明責任、ご家族との関わり方、医療機関との連携、事故予防のための個別
の介護技術の解説など、幅広い分野にわたる研修会となりました。

はじめに(研修の基本となる事項を簡記しました。)

特養において、介護事故が発生しないように予防策を講じるべきであることは当然のことです、不幸にも事故が起きてしまった場合にはその原因を明らかにし、介護サービスの改善やサービスの質の向上に繋げること、そして同時にその取り組みを利用者並びに、ご家族に理解していただくことが大切です。

事故が起きたときにご家族が望むことは、犯人探しや責任逃れではなく、事実の提示であり、誠実で真摯な対応と説明責任の履行です。また、二度と同じことが起きないようにするための、再発防止の施設の姿勢(努力)であると認識すべきです。

―介護事故予防の取り組みの基本的考え方― 一、質改善を志向した介護事故予防

施設ケアにおいて、利用者一人ひとりに対して、介護の基本理念「自立支援」「人格の尊重」「自己決定」を実現し、より良いケアを提供するため、様々な視点からの取り組みが、日々行われることが望まれています。介護事故予防のためには、「施設整備」「職員教育」「介護技術」などの面で行うべきことがあり、施設における介護事故予防の取り組みは、それ単独で実施するのではなく、施設全体のマネジメントの一環として推進することが重要です。

二、介護事故の特性と対応

特養は、介護を必要とする高齢者が一日一日を自分らしく過ごしている「生活の場」です。職員には、介護の専門職として、予め起こりうる事故を想定し、予想されるリスクに対して「備える」ことが求められています。

三、認知症のある利用者と介護事故予防

認知症があることを事故の原因や安全を脅かす要因として、本人への説明、同意も得ることなく、事故が起きないよう日常的に身体拘束をしている施設があるようです。

認知能力や理解力が低下しているため、同じ行為による事故を繰り返したり、注意事項を守らずに事故を起こしたりしているからといって、認知症を事故の直接的な原因と考えるのは適切でないと考えます。

職員は、認知症の特性を正しく理解し、適切な対応ができるよう、日々研鑽することが求められています。

四、身体拘束と介護事故予防

身体拘束は、個人の尊厳を侵害する行為です。入所(利用者)者の尊厳の尊重や自立支援を基本理念とする特養における介護の現場においては、身体拘束は行わないことが原則です。

認知症を理由とする身体拘束は、介護職員の専門性への取り組みの不十分さに起因するものです。自己研鑽が重要な課題です。

AOBビューティークリエイト専門学校 慰問

山梨県小淵沢町にある美容専門学校「AOBビューティークリエイト専門学校」の学生さんと先生が十一月十二日(水)、十三日(木)、実習を兼ねて慰問していただきました。



若い頃、おしやれより働くことと頑張っていた利用者様にとって、化粧と言われても、戸惑うばかり…でしたが若い学生さんに声をかけていただき、ハンドマッサージや基礎化粧品をぬってもらっている内に、あつという間に若かりし頃にタイムスリップ。

ご主人とのなれ初めや昔話があちこちで聞かれ始めました。「きれい」「素敵」「若いね」そんな言葉に照れることしきりですが、どの利用者様の表情もみるみる穏やかに明るくなっていました。



「化粧療法」という言葉もありますが、どんなにもきれいになることに悪い気はせず、何よりも一人ひとりに向き合ってもらっていることが一番うれしいのではないかと感じました。

若い息吹を羨ましく思いつつ、日頃職員も利用者様とより向き合う処遇に努めなければと思いを新たにした二日間でした。

木枯らしが吹き始め、八ヶ岳も薄っすら雪の姿が見うけられる季節となりました。

十一月十六日(日)、衣料ショッピングは年二回夏と冬の季節の変わり目に、地元業者のご協力をいただき行われています。

装いを変えるだけでなく心も表情も明るく変わられます。入所者の皆さまも自ら好みの衣類を手に取り選ばれて、楽しいひと時を過ごされていました。



衣料ショッピング

華道



バラ、ストック、カーネーション等色とりどりのお花を使った「華道」が十一月十八日(火)に行われました。

皆様が毎月楽しみにしている行事の一つで、手作りのオアシスに花を活けられるときの表情はとても穏やかで笑顔が絶えませんでした。

仁生園 大運動会

十一月二十三日(日)、大運動会がコミュニティホールで開催されました。

紅白の対抗戦で行われ、紅組「中御門宣子様」白組「三井君子様」それぞれ利用者の代表で開会宣言をしていただき、紅白のハチマキを巻き気合も入ったところで競技開始。



運動会

今年度は紅組の勝利となりましたが、最後に「青い山脈」「これから音頭」を全員で歌い踊り、勝敗も忘れられています。



「ボール送り」が終わったところで一旦休憩を取り、ジュースで喉を潤す表情からは笑みがこぼれていました。

十一月十二日(水)、園の庭で焼きも会をしました。毎年、韮崎市の利用者ご家族様の畑にイモ掘りに行き頂いたものです。畑には第二仁生園用にサクが作っており、手塩にかけご苦労に感謝いたします。

当日、午前中は小雨交じりの天気でした。室内でホイール包みの準備作業をしながら、

「雨が止むかな」と午後後の天気に期待を持ちながらいました。



毎年の恒例行事なので、新聞紙を濡らしてイモを包む人、それをホイールで包む人と上手く流れ作業となり、あつという間に準備万端です。

お昼ご飯の頃には雨も止みました。いいにおいに誘われて続々と焼いも場に皆さん集合して来ました。

テーブルを囲み、「寒いけどアツアツの『おイモ』が美味しいよ。」「今年のイモは凄く甘いなあ。」と賑やかな楽しいひと時でした。

第二仁生園 「焼きも会」

感謝

平成二十六年十一月一日

平成二十六年十一月三十日

愛寿会・仁生園・第二仁生園へのご協力ありがとうございました。

いつもご協力をいただき心から感謝申し上げます。今後とも利用者の皆様に、よりご満足いただける施設運営を目指し役職員一体となって誠心誠意努めて参ります。

何卒、これからもご支援のほどを、また、ご叱正を賜りますようお願い申し上げます。

金員・物品のご寄附

・北杜市	佐藤 健一・玲子	様
・北杜市	堀 込 一 幸	様
・北杜市	坂 本 良 廣	様
・甲府市	相 良 紀 昭	様
・韮崎市	細 田 太満美	様

ボランティア活動

・レクボランティアほがらかグループ	代表 吉田 道子	様
・レクボランティアゆづつの会	代表 佐野 恭子	様
・北杜市	保 坂 多枝子	様
・北杜市	井 上 早智子	様
・北杜市	原 田 勝 子	様
・北杜市	佐 藤 英 道	様

愛寿会後援会入会者様

・北杜市長坂町	小林 脩 様
・北杜市長坂町	浅 川 元 晴 様
・北杜市長坂町	川 端 下 稔 様
・北杜市小淵沢町	山 中 悠紀子 様
・さいたま市緑区	小 松 英 利 様
・北杜市小淵沢町	(有)宮坂自動車 様

堀込様から白菜をいただきました



北杜市長坂町にお住いの堀込様から、とっても大きく育った白菜を今年もいただきました。毎年、お漬物や鍋等に大活躍の野菜で、美味しかったです。本当にありがとうございます。

年末年始のお知らせ

※デイサービスセンターは、一月一日(木)から一月四日(日)までお休みさせていただきます。

※事務所は、十二月二十七日(土)から一月四日(日)まで宿・日直者が対応させていただきます。宜しくお願い致します。

面会の皆さま

手指の消毒などにご協力を!

仁生園・第二仁生園 共通

お手数をおかけしますが、施設利用者の健康を守るために左記の七項目をお守りくださいますようお願いいたします。

- 一、ご面会は、なるべく午前九時から午後五時の間をお願いいたします。
- 二、出入口は、正面玄関からのみとしてくださるようお願いいたします。
- 三、ご面会の際には、必ずマスクを持参してください。
- 四、玄関に入りますと正面に消毒液が設置されておりますので、手指を丁寧に消毒してください。
- 五、ご面会に訪れたことを事務室にお話してください。その際、体調の悪い方にはご遠慮いただくことがあります。
- 六、それからワーカー室に向い、来意をお伝えください。
- 七、ご面会の際には、マスクの着用を基本にお願いいたします。

愛寿会サービスへのご意見・ご要望や施設見学等のご希望がありましたら左記までご連絡ください。
仁 生 園 電話 0 5 5 1 (3 2) 3 3 4 0
第二仁生園 電話 0 5 5 1 (3 2) 8 2 7 0